

大豆の落葉が始まり、収穫期が近づいています。収穫が遅れると莢がはじけて、収量ロスが増加すると共に、「しわ粒」や「腐敗粒」の発生により品質が低下します。
速やかに刈取りができるよう準備を進めて、適期に収穫しましょう。

1. 収穫開始の目安

- ◆落葉期（ほ場全体の約半分の株が完全に落葉した時期）から約6日後が収穫開始時期です。
今年も、ほ場ごとの成熟の進み方に差があるので、表1を参考に褐色莢の程度を確認し、刈遅れないよう計画的に作業を行いましょう。
- ◆茎に色みが若干残っていても、莢色を優先して収穫してください。

【莢色の進み方】



【表1 褐色莢の割合と収穫開始日までの目安】

褐色莢の割合	収穫開始日までの日数
50%	8日程度
70%	5日程度
90%	2日
95%	0日

【収穫開始の目安（えんれいのそら）】

5月下旬播種：10月10日頃～
6月上旬播種：10月13日頃～
" 中旬播種：10月16日頃～

【収穫開始時期の株の状態】

1品種の収穫適期幅は
7日程度しかないので、
刈遅れないように注意！



2. 収穫準備

- ◆汚損粒の発生を防止するため、**早めに青立ち株や大型雑草の抜取りを行い**、刈取りの準備を進めてください。

3. 収穫作業

- ◆収穫は10時～16時を目安とし、**莢が乾いていることを確認してから行い**ましょう。
- ◆刈取り高さは地際から10cm程度とし、土が入らないようにしてください。
- ◆作業速度は、**0.5m/秒（1.8km/時）程度**で行い、収量ロスを減らしましょう。
また、大豆が倒伏している場合は向刈りを行きましょう。

4. 乾燥作業

- ◆急激な乾燥は、しわ粒や皮切れ粒等の発生要因となります。
機械乾燥する場合は、送風温度を「気温+5℃以内」とし、子実水分13.0～13.5%程度に仕上げましょう。



JA乾燥施設は10月8日から稼働予定です。